

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第83号（通巻第150号）

2009年11月30日発行  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: [jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp](mailto:jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp)  
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

## ■ 第3回期間採用者等研修のご案内

来週の土曜日、12月5日に「第3回期間採用者等研修」が、下記要領にて開催されます。教員を希望している学部生、卒業生など研修を受けたい方はどなたでも参加でき、受講料は無料です。関係者に広くご紹介ください。

### 【申し込み方法】

FAX: 055-220-8790、TEL: 055-220-8325、Web: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>、  
メール: [jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp](mailto:jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp)のいずれかで。

日 時: 平成21年12月5日(土) 9:30~15:15 (一部17:00まで、9:00受付開始)

集合場所: 山梨大学 教育人間科学部 J号館5階 A会議室

プログラム: 研 修 1 (講 演)

「教師力の向上を目指すために」

丸山 嶺男氏 (笛吹市教育委員会生涯学習課青少年育成コーディネーター)

研 修 2 (校種別研修)

「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりの実践」

小学校教育 : 太田 充氏 (三富小学校校長)

中学校教育 : 石丸洋一氏 (竜王南小学校教頭)

高等学校教育 : 村松俊哉氏 (日川高等学校教諭)

特別支援教育 : 山中八千代氏 (あけぼの支援学校教諭)

特別研修 (希望者のみ)

「教育現場の今日的課題」 永田 徹氏 (本学非常勤講師)

## ■ 多目的教室の視聴覚機器リニューアルのお知らせ

平成21年度教育人間科学部教育機材・器具更新費により、教育実践総合センター5階多目的教室(J514)の視聴覚機器が整備されましたので、どうぞご利用ください。液晶プロジェクターで提示

する DVD, VHS ビデオ, 書画カメラ (実物投影機・OHC), 教室据置 PC, 持込ノート PC の画面切替・液晶プロジェクターのオンオフ操作が, 教員卓で簡単にできるようになりました。この教室はおおよそ 50 人までの講演会, 研究会, 教員研修会, 卒業論文発表会をはじめ, 授業でも活用いただくことができます。利用にあたっては, あらかじめ, 教育実践総合センター事務室 (J421) において, 利用申請の手続きをお願いいたします。

○問い合わせ先 : 教育実践総合センター事務室 (J421)

内線 : 8325, メール : [jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp](mailto:jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp)

### ■ 第 3 回教育相談協議会開催の予定

12 月 1 日 (火) 16:30 より教育相談室にて第 3 回教育相談協議会が開催予定となっております。出席予定者は、附属 4 校園の教育相談担当教諭、鳥海先生・酒井先生・鶴田先生・谷口の 8 名です。附属 4 校園および山梨大学の教育相談の現状と連携のありかたについて協議の予定です。

### ■ 第 2 回教育臨床研究会のご報告

10 月 29 日 (木) 10 時半より、第 2 回教育臨床研究会が開催されました。山梨県立中央高等学校の秋山香江教諭を講師にお招きし、「高等学校における特別支援教育」についてお話しいただきました。参加者は保護者・学生・教員の計 33 名でした。特別支援教育も義務教育段階の取り組み実践は蓄積されつつあります。今回は不登校等定時制高校に在籍する生徒の課題と学校での支援体制について貴重なお話を頂きました。

### ■ 研修会講師・研究助言等の「教師等支援活動の実施報告」に関するお願い

附属教育実践総合センターでは、研修講師・地域での講演・研究助言等の教師支援に関する実績の統計をとり、県教育委員会へ報告しております。お手数ですが、教師や保護者・児童生徒・地域の一般の方を対象とする研修会講師や講演・研究助言等、地域支援活動の実績を附属教育実践総合センターのホームページ上にあります「教師等支援活動の実施報告」にご記入いただく形で送信してください。ご協力宜しくお願い致します。

### ■ 「教育相談」の報告書に関するお願い

個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても、下記事項をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので、どうぞお申しつけ下さいませ。

日付	方法	相談対象	学年	性別	相談者	相談内容	備考
080401	訪問	〇〇小	小6	男	教師	発達障害児へのかかわり	(特別支援コーディネーター)

報告用紙は教育人間科学部総務グループ入り口はいつて左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

### ■「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室（J号館4F）にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。（なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター教育相談室及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。）教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

### ■「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」スタッフ募集

相談スタッフを募集しています。新しく着任された先生や未登録の先生方は、この機会に是非ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。新規登録をお考えの先生は、教育人間科学部附属教育実践総合センター谷口までご連絡くださいませ。ご継続いただける先生方の再登録手続きは不要ですが、相談日時等変更点がございましたら、ご連絡ください。

---

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見るすることができます。